

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(カトー株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
																																
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			男女、日本人・外国人、年齢区別なく雇用を行って、成長を牽引する人材採用と育成に力を入れています。仕事に興味を持って頂いている方々、技術を有している方々には広く雇用の機会を与えています。また、組織は役職に関係なく能力と前向きなアイデアを積極的に成長の原動力として価値を会社で共有しています。													5.1 5.2 5.5	8.5 8.7 8.8	10.2 10.3											16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則に明文化していることは勿論、ハラスメントがでない事業環境、開かれた明るい事業文化を日頃から徹底しています。本社は二人まちなか不動産は1人の女性が上手く社内を明るい雰囲気にして頂いています。また、相談しやすい文化と雰囲気になっています。過去に問題は発生していません。														5.1 5.2 5.5	8.5 8.8											16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			基本的に残業は極力ないようにしております。但し、お客様からのトラブル対応には時として予測しない残業が発生しますが、①一部の人に仕事が偏らないように技術の共有、②予測しない残業が発生した場合は、以後の一ヶ月間でその分の休暇をとるようにして社員全員で作業の平準化に取り組んでいます。																8.5 8.8											
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			雇用の門戸は広く開けており、「成長を牽引する人材採用・育成」を徹底して、日本人、外国人の区別はしていません。以前にはマレーシア人、イラン人も社員として採用し成功しています。				4.4													8.7 8.8	10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			土木・建築と言う職業柄、特に労働環境面には気を配っています。事故が起きないように安全第一としています。無理のない工程を先輩諸氏の経験等も若手に伝授して継承しています。			3														8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			土木・建築と言う体を酷使する労働環境もあり、特に若い方のメンタルヘルス面には気を配っています。定期的に親睦会等を通じてコミュニケーションを図っています。			3																								
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			首都圏からのターンの若い子育て中の女性を採用して勤務時間はフレックスにしています。Uターンの社員を採用するなど、制約を設けないでいます。高齢者の雇用を維持しています。多様な人材の受け入れと彼らの働く環境を創出しています。						5.1 5.5			8.5									10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社員の積極的な資格取得を応援しています。仕事の仕方も教育に支障がでないように仕事量とのバランスを上手くつとっています。					4	5.5			8	9																	
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			特に外注者・社を多く使っていますが、市場価値を適正に維持して共存共栄を図っています。						5.5			8.5									10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			土木・建築と言う肉体労働を余儀なくされている職場環境なので、社員の健康には特に留意して無理のない工程管理を行い生産性の向上に努めています。			3						8																		
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			産業廃棄物は法令に従って適切に管理しています。産業廃棄物である瓦の再利用の事業に進出することを計画しています。瓦を細かく粉砕して特殊な化学剤と混ぜて、歩道、道路の整備に活用することとしています。美観を促進し、足の負担も軽減され、滑らないので転倒防止にもなります。産業廃棄物業者の資格取得も検討しています。																		11.6	12							14.1	
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			現在は暖房は化石燃料(石油)を主な燃料として使用しています。将来は高気密・高断熱の社屋に切り替えや、電力は太陽光エネルギーに切り替えるなどの方策を行います。								7.3												13							
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			高気密・高断熱の建築も研究しており、自社のCO2排出も抑制する方向で検討しています。									7.2 7.3										12.4	13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質については把握をしており、新規建築には使わないようにしています。			3.9					6.3											11.6	12.4							

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定